

2021年度、はじまりました。

遠隔授業に教育学科、新しいこと盛りだくさん

講師派遣制度をご利用ください

各機関(本山・宗団・同窓会・宗務支所・高野山真言宗寺院)さまへの、本学教員の講師派遣は大学公務として取り扱っております。

【講師派遣お申込み手順】

1. 高野山大学公式ホームページの[大学案内]「講師派遣」から、「講師派遣依頼フォーム」より、必要事項(ご希望の講師名、日時、場所、講演テーマ等)を記載の上お申込みください。
2. 講師との調整がとれ次第、依頼主さまへ折り返しご連絡いたします。
※「講師派遣依頼書」を提出していただく場合もあります。

【注意事項】

1. 講演料(手取り額)
60分 ￥20,000
90分 ￥30,000
※講演料のみを直接講師に手渡ししてください。
2. 交通費・宿泊費は、本学にて負担します(「高野山大学旅費規程」による)。
3. 講演が複数日あるいは長時間にわたる場合の条件は、講師と直接調整してください。
4. 大学を経由せずに、直接講師に依頼する場合は、この申し合わせの対象外とします。
※講師派遣依頼のお申込みは、HP掲載の様式をお使いください。



こちらのQRコードからもアクセスできます。>>

寄付金のお願い

高野山大学では、同窓生をはじめ、皆様からの寄付金を募集しております。これは、現在取り組んでいる、高野山霊宝館との連携や学習・就職支援室の運営などをはじめ、大学での教育・研究活動の充実と質の向上を目的とした寄付金の募集でございます。

頂戴いたしました寄付金は
○大学の設備・備品費などの諸経費 ○地域との連携事業の経費
○学習・就職支援室の活動費
などに用いさせていただく予定です。
高野山大学では、学生や社会に選ばれる大学を目指し、「魅力ある大学づくり」をキーワードにこれからも様々な教育改革に取り組んでまいります。
皆様におかれましては、高野山大学への引き続きのご支援をこそよりお願い申し上げます。
この趣旨に賛同していただける方は、お手数をおかけいたしますが、高野山大学総務課(電話0736-56-2921、FAX0736-56-2746)までご連絡ください。
ご連絡をいただきました方には、大学から、
○寄付申込書 ○寄付金用振替用紙 ○返信用封筒
をお送りさせていただきます。なお寄付金は、一口2,000円以上とさせていただいております。
皆様のご支援とご協力を、重ねてお願い申し上げます。

【ご注意】

今回の学報に同封しております振替用紙は、同窓会費の振替にのみご利用下さい。

2022年度 選抜(入試)概要(2021年内の日程)

選抜(入試)日程(密教学科・別科)

※合格発表は本人宛郵送と本学にて掲示(10:00)。

試験種別	出願期間	試験日	合格発表
学校推薦型選抜(併設校)	令和3年11月1日(月)～11月18日(木) 必着	11/27(土)	12/3(金)
学校推薦型選抜(指定校)	令和3年11月1日(月)～11月17日(水) 消印有効		
総合型選抜Ⅰ期(一般・寺院後継者)	令和3年9月17日(金)～10月7日(木) Web締切 事前説明会7/1(木)～9/30(木)	10/23(土)	11/1(月)
総合型選抜Ⅰ期(書道)			
総合型選抜Ⅱ期(一般・寺院後継者)	令和3年11月5日(金)～11月22日(月) Web締切 事前説明会10/1(金)～11/15(月)	12/4(土)	12/10(金)
総合型選抜Ⅱ期(書道)			
編入学選抜(前期)／社会人編入学選抜(前期)	令和3年11月5日(金)～11月22日(月) 消印有効	12/4(土)	12/10(金)
社会人編入学選抜(前期) 大阪難波サテライト	令和3年11月5日(金)～11月22日(月) 消印有効	12/5(日)	12/10(金)
留学生選抜Ⅰ期/留学生編入学選抜Ⅰ期	令和3年11月5日(金)～11月22日(月) 消印有効	12/4(土)	12/10(金)
別科選抜Ⅰ期 密教学専攻コース	令和3年11月5日(金)～11月22日(月) 消印有効	12/4(土)	12/10(金)
個別資格審査	令和3年11月1日(月)～11月17日(水) 消印有効	11/27(土)	12/3(金)

選抜(入試)日程(教育学科)

※合格発表は本人宛郵送。

試験種別	出願期間	試験日	合格発表
学校推薦型選抜(併設・指定校・公募制Ⅰ期)	令和3年11月1日(月)～11月19日(金) Web締切	11/27(土)	12/3(金)
学校推薦型選抜(公募制Ⅱ期)	令和3年11月22日(月)～12月10日(金) Web締切	12/19(日)	12/24(金)
総合型選抜Ⅰ期	令和3年9月17日(金)～10月8日(金) Web締切	10/16(土)	11/1(月)
総合型選抜Ⅱ期	令和3年11月8日(月)～11月26日(金) Web締切	12/5(日)	12/10(金)
個別資格審査	令和3年11月1日(月)～11月17日(水) 消印有効	11/27(土)	12/3(金)

大学院(通学制)選抜(入試)日程

※大学院は密教学専攻、仏教学専攻

通学制	出願期間	試験日	合格発表
大学院【前期選抜】 修士(博士前期課程)コース・修士社会人コース・ 修士僧侶コース・博士後期課程	令和3年8月27日(金)～9月17日(金) 消印有効	9/25(土)	10/1(金)

大学院(通信制)選抜(入試)日程

通信制		出願期間	
密教学専攻 通信教育課程 前期選抜		令和3年7月15日(木)～7月27日(火) 消印有効	
一次審査発表	二次面接	二次合格発表	手続期間
8/26(木)	9/25(土)	10/1(金)	10/2(金)～10/18(月)

試験の詳細は
大学ホームページから>>



イベントはYouTubeでもライブ配信され、全国多くの方に観覧いただきました。動画は「吉本興業チャンネル」にて公開されています。「高野山大学 イベント」などで検索ください。



高野山大学教育学科のこうした活動は、いくつかのメディアから継続的に取材したいとの申し入れがあり、注目されていると感じます。本学科では今後も大切に教育活動を行っていきたいと思っています。皆様のご支援ご協力をよろしくお願いいたします。



難波サテライト教室は大阪府に発令された緊急事態宣言の影響により、5月から教室で授業ができない日々が続く、また高野山キャンパス、河内長野キャンパスでも学習内容の管理運営ツールの導入をはじめとした在宅学習に向けた準備が進められています。また、オープンキャンパスもオンラインで実施。密教育学科、教育学科ともライブ配信を通してそれぞれの学科の魅力を伝えています。対面形式とはまた違ったチャットなどでのやり取りで高校生とのコミュニケーションを深めています。

弘法大師の誕生日である六月十五日、漫才コンビ「笑い飯」の哲夫さんと添田学長、岡本副学長による公開イベント「われわれは何のために学ぶのか」が松下講堂黎明館で開かれ、密教と本学の教育について約一時間語りあいました。

教育学科が4月から無事スタートしましたが、緊急事態宣言の影響で、講義は原則リモートで行っています。学生同士の交流が生まれ難く、少しさみしい状況が続いています。

令和2年度にネットワーク・サーバ機器の入れ替えを行い、新たに学内に67台の無線LANアクセスポイントを設置することで学内全域において無線ネットワークの使用が可能になりました。

われわれは何のために学ぶのか
笑い飯哲夫さんと鼎談ライブ

教育学科スタート
学生たちが笑顔です

学内ネットワーク環境の
整備進む

OPEN CAMPUS 2021

オープンキャンパス

入試・授業内容
学費・奨学金・就職
資格・学生生活

事前申し込み制 保護者の方も一緒にご参加OK

オープン キャンパス	密教育学科 教育学科	7/25(日)、8/22(日) 7/18(日)、8/22(日)、9/5(日)、9/23(木・祝) ※受験相談会
会 場		密教育学科は 高野山キャンパス 教育学科は 河内長野キャンパス
各日程の詳細は ホームページにて 随時更新します。 お申込みもHPから		
交通のご案内 【高野山キャンパス】 大阪「なんば駅」→「高野山駅」→「高野山キャンパス」 大阪「なんば駅」から南海高野線で「高野山駅」まで特急で1時間20分、急行で1時間40分(30分毎発車) 高野山駅からバスに乗り「千手院橋」バス停で下車、徒歩300m、約4分 ●新大阪から大阪「なんば駅」までは地下鉄で約20分 ●和歌山・奈良方面からは、JR和歌山線橋本駅で乗り換え → 南海高野線 【河内長野キャンパス】 大阪「なんば駅」→「河内長野駅」→「千代田駅」→「河内長野キャンパス」 なんば駅から南海高野線「千代田駅」まで約30分、千代田駅からバスに乗り「東峯口」下車 ※無料シャトルバス運行		

「犀の角のように」歩める学生を

2500年前、お釈迦様は「音声に驚かない獅子のように、網にとらえられない風のように、水に汚されない蓮のように、犀(さい)の角のようにただ「人歩め」とおっしゃられました。

獅子は音に動じず、風はさえずる網をすり抜けて吹き、蓮はよどんだ水の上でも美しく咲き、サイには、硬くたくましい一本の角が生えています。本学ではこの言葉のような、周囲に臆することなく、染められることなく、自由に、力強く一人の道を歩める学生像を目標としています。

人々は、強き者が全てを得る弱肉強食の時代から、力に関係なく平等に与えられる時代へと移ってきました。一方で、石油や森林、食物、限りある資源の争奪や枯渇を招く時代にもなりました。現在からずっと先の未来まで資源や文化を残すには、欲しいけれど我慢するという欲望の制御と、自分たちの持つ物の一部を見えないものに分け与える、つまり未来に向けて引き継いでいくことが必要ですが、これができる人はまだほんのわずかです。

未来に引き継ぐために必要になるのが、周りに流されずに自分の道を歩く強さです。本学を志望される皆さんには、たとえ孤独であっても、自分の意志を強く持ち、だれかのため、未来のために行動できる人になっていただきたいと思っています。



高野山大学 学長
人間学科 教授
添田 隆昭

先生方の研究テーマや状況をお知らせする「Latest Research Report」
今号では教育学科の村尾先生、密教学科の奥山先生に自身の研究について執筆いただきました。
また、4月より本学に就任された教育学科、密教学科、教職課程の先生を紹介します。さらににぎやかになった高野山大学をこれからよりよく願っています。

「西郷文芸学」の研究



教育学科 准教授
村尾 聡

私が研究しているのは「西郷文芸学」です。西郷文芸学とは、1960年代から2010年代にかけて、文芸学者の西郷竹彦（1920―2017）が打ち立てた文学理論として、文学教育に関する理論です。

詩や物語、絵本、民話、戯曲等の文学作品や評論、論説、随筆等の説明文をどう読み、児童・生徒達にどう教えるのか、ということについての理論です。具体的には視点論・形象論・構造論・人物論・主題論・典型論・表現論・虚構論、教育的認識論等の各論があります。

これら各論を説明する余裕がないので、例えば「視点論」という理論について説明したいと思います。「視点」というのは、物語や詩を読む場合、その物語を「誰が見て」「どのように語るのか」という point of view の問題です。読者は、この物語の「視点」を通して読み、文学体験をします。

例えば、新見南吉の「ごんぎつね」は、はじめは物語を語る「語り手」が主人公の「ごんぎつね」を客観的に外側から見て語ります（これを語り手の「外の目」といいます）。ですが、次第に語り手は「ごんぎつね」の内面を語り出します。（「ごんは……と思いました」という風に（これを語り手が人物の「内の目」で語るといいます）。物語を教える時はこの「視点」をふまえて教材分析をします。

私が西郷文芸学を研究するきっかけになったのは、小学校の教員時代、先に述べた西郷竹彦先生に約20年間教えを受けたからです。西郷文芸学を生かした授業は、子供達にわかりやすく、保護者にも好評でした。

西郷文芸学の文学教育における価値意味、そして問題点を明らかにし、学校教育に貢献できればと思っています。

仏教を介したグローバルな交流の研究



密教学科 教授
奥山 直司

仏教を介した近代日本と海外、特にアジア諸地域との交流が私の研究テーマの一つです。

明治時代、日本の仏教界に起こった新たな動きのついでに、海外進出があります。その中で、西洋諸国への調査団・留学生の派遣と並んで顕著なのが、セイロン（現スリランカ）・インドへの留学の動きと、それに続くヒマラヤチベット探検の動きです。彼らアジアへ向かった日本人仏教徒に共通していたのは、仏教の原点である釈尊の教えを明らかにしようという情熱と日本仏教の現状を改革しなければならぬという使命感でした。

例えば、横浜にある真言宗三會寺の僧、釈興然（1849―1924）は、1886（明治19）年に、日本人で初めてセイロンに留学しました。その目的は、セイロン仏教に伝わる戒律の実践的研究にありました。彼に続いて、各宗派の僧侶たちが続々とこの島に渡ります。興然は、セイロン上座部の正式な比丘と

なつて7年後に帰国し、それからは日本に上座部仏教を移植することに腐心しました。

このようなテーマを追究する場合に欠かせないのは、国の内外にわたるフィールドワークです。インド・スリランカを中心とする南アジア世界、内陸アジアに広がるチベット仏教圏、東南アジアの上座部仏教圏など広大で多様なフィールドが私たちを待っています。そこで先人たちの足跡を追いながら、身をもって異文化を体験することが、この種の研究の醍醐味と言えるでしょう。



（写真）セイロン島南部カタルワのランヴェルレー寺。
ここで興然はセイロン仏教の基礎を学んだ。

新任教員紹介



教育学科
今西 幸蔵 特任教授
社会教育、教職論



教育学科
帯野久美子 特任教授
英語、キャリア教育



教育学科
山田 正行 特任教授
教育社会学



教育学科
奥田修一郎 准教授
社会科教育



教育学科
村尾 聡 准教授
国語科教育



教育学科
溝渕 淳 准教授
社会福祉



教育学科
植田恵理子 准教授
音楽科教育、幼児音楽



教育学科
松本 歩子 准教授
家庭科教育



教育学科
柳原 高文 特任准教授
理科・生活科教育、森林環境教育



教育学科
森本 敦子 専任講師
外国語教育



密教学科
溝端 悠朗 専任講師
中古中世和歌文学



教職課程
鈴木 晴久 教授
教育史

令和3年度役職紹介

高野山大学
学 長 添田 隆昭
副学長 松長 潤慶
副学長 岡本 正志
大学院委員長 前谷 彰
研究所長 佐藤 隆彦
図書館長 土居 夏樹
学校法人高野山学園
法人本部長 芝田 啓治
事務局長 山口 文章
顧問 乾 龍仁



教職課程
佐々木 聡 専任講師
教育心理学・学校心理学

令和2年度学位記授与式
令和3年度入学式

令和2年度学位記授与式を3月15日に松下講堂黎明館で挙行了しました。昨年度に続き新型コロナウイルス感染対策のため来賓は高野山真言宗管長・金剛峯寺座主の葛西光義管長親下と同宗務総長・同執行長の添田隆昭理事長の2名、そして教職員と卒業生のみで行われました。卒業生は密教学科26名、人間学科17名、別科2名、大学院修士課程3名、博士後期課程1名、大学院通信教育課程10名でした。式では乾学長より代表者に学位記が手渡され、厳かに執り行われました。

令和3年度入学式は4月6日に同館で行い、こちらも感染症対策のため来賓として山口文章同山林部長（事務局長）、そして新入生と教職員のみで実施しました。教育学科にとっては初めての1年生を迎える入学式となりました。

本年度の新入生は密教学科29人、教育学科11人、3年次編入9人、大学院修士課程4人、博士後期課程1人、大学院通信教育課程22人でした。新入生を代表して教育学科の水口竣太さんがあいさつし「弘法大師の綜芸種智の教育理念を糧として人格の陶冶と学問に奨励、努力することを誓います」と宣誓しました。



大阪府と連携協定締結

本学と大阪府環境農林水産部は大阪府内の農林業と地域活性化を図り、社会で活躍できる人材の育成に寄与することを目的に、事業連携に関する協定を締結しました。

本学では、教育学科において教員養成カリキュラムの環として地域団体とともに農作業や里山保全活動に取り組み体験学習を導入しており、協定では、

- ・農林業や地域の活性化に資する体験や活動
- ・農林業の体験や地域の活性化のための活動を通して人材育成
- ・農林業の体験や地域の活性化のための活動の情報発信

などの内容について同部と本学が協力して取り組んでいくこととなっています。協定式は3月26日に大阪府庁咲洲庁舎で行われ、出席した乾龍仁学長と同部の南部和人部長が協定書にサインしました。具体的なプランについては今後協議を深め、本学では協定に基づき、農林業を通して人材育成および大阪府の農林業と地域の活性化に向け、ともに活動してまいります。



ヴァルマ駐日インド大使講演会
アンベードカル博士生誕式典

インド憲法の父と称されるビームラー・オラーム・ジー・アンベードカル博士の誕生日である4月14日、サンジエイク・マル・ヴァルマ駐日インド大使による講演会が高野山キャンパスの第三会議室で開かれました。

ヴァルマ大使は「インド…文化の小宇宙」の演題で講演。世界2位の人口を誇るインドの多様性について地形や文化遺産、言語など様々な面から紹介されました。また、言語の構造や哲学思想、企業同士の影響など日本とインドのつながりについて「インドと日本は文化的、基礎的なつながりの他に、人的、経済的交流にも発展してきました。これから重要になるのは、若い世代の皆さんに二国間の交流の勢いを維持してもらうことです」と学生らに語りました。

講演後、本学松下講堂黎明館前のアンベードカル博士像の前で生誕記念式典が行われました。式典にはヴァルマ大使をはじめ昨年本学で講演を行ったB・シヤム在大阪神戸インド総領事、和歌山県議会日印交流促進に関する議員の会員らが出席し、銅像に花束と白いカーネーションを献花しました。



宗教教育行事

高野山大学教職員並びに先輩物故者追悼法会
令和2年12月21日に松下講堂黎明館において高野山大学教職員並びに先輩物故者追悼法会を執り行い、これまでの本学教職員と先輩物故者の追善菩提・学内の安穩と在学生の学業成就を祈念しました。

新型コロナウイルス感染症対策に配慮しながら中曲理趣三昧法会にて行われ、法会後は奥之院御廟と大学墓所に参拝し、大学墓所には書道部員が書いた角塔婆を建立しました。

春季集団加行

男子は真別処圓通律寺において2月5日から3月31日まで、女子は専修学院尼僧部において2月4日から3月30日まで春季集団加行が行われました。今季の行者3名（2回生1名、3回生1名、修士2回生1名。うち尼僧1名）は約50日間の修行に専心しました。

集団得度式

高野山学園の集団得度式を5月26日、総本山金剛峯寺にて執り行いました。葛西光義管長親下に戒師をお勤めいただき、受者は臨席の本山内局、大学・高校教職員に見守られる中、剃髪、如法衣の授与の後、戒師より戒を授かり出家しました。今年度の本学関係受者は6名（1回生4名、3回生1名、修士1名。うち尼僧1名）でした。

受戒

6月2日から6月4日まで、真別処圓通律寺において受戒が開壇されました。稲葉法研法印御房に戒師をお勤めいただき、受者は仏名会を修し、戒師より戒を授かりました。今年度の受者は5名（1回生1名、2回生2名、3回生2名。うち尼僧2名）でした。

日録 令和3年1月～6月

1月										2月										3月											
11月	12月	17日	20日	27日	1月	3日	4日	5日	7日	9日	10日	12日	15日	16日	17日	18日	20日	24日	26日	27日	2日	3日	8日	9日	13日	15日	16日	17日	22日	25日	
授業再開	修士論文提出期限	オープンキャンパス（難波）	卒業論文提出期限	教授会	後期授業終了	大学院委員会	通信後期一次判定	通信一次合格通知	一般選抜前期・社会人入試	オープンキャンパス（難波）	成績報告書提出期限	臨時教授会	留学生Ⅱ期	留学生編入Ⅱ期試験	再試験願提出日	再試験日	通信二次面接、博論審査	卒論口述試問（25日）	卒論報告会	大学院後期入試、修了判定	教授会、卒業判定	卒業・修了者発表	通信春期研究発表会	通信春期研究発表会予備	一般後期、3年・社会人編入後	別科Ⅱ期入試	学位記授与式	臨時教授会	後期合格発表	学年末成績通知	後期手続き期限

4月										5月										6月											
4日	6日	7日	8日	9日	14日	15日	17日	20日	21日	22日	28日	7日	17日	19日	21日	22日	26日	31日	2日	13日	14日	15日	16日	20日	21日	23日					
オリエンテーション（難波）	入学式	導入研修、オリエンテーション（8日）	学校・保育現場体験地域体験	オリエンテーション（河内長野）	前期（1ターム）授業開始	教授会／防災訓練（河内長野）	受講科目届提出期限	学校・保育現場体験／	地域体験申込期限（河内長野）	学生健康診断（河内長野）	履修科目登録確認開始	地域体験先発表（河内長野）	報恩日／教授会（河内長野）	授業時間割確認開始	科目変更期限、院指導教員、博士論文申請、研究課題提出期限	前期・通年科目取り消し期限（河内長野）	卒論・修論題目提出期限	教授会	報恩日	オープンキャンパス（河内長野）	学園得度式／教授会（河内長野）	学校・保育現場体験先発表（河内長野）	前期・通年科目取り消し期限	受戒（4日）	オープンキャンパス（高野山）	2ターム授業開始（河内長野）	宗祖降誕日	教授会	通信学習支援会	報恩日	教授会（河内長野）

寄付金御礼（2020年11月～2021年5月）＊順不同

佐伯 慈海様	五十万円	高野山住職会様	百万円	四百万円
川口 道雄様	十万円	高野山大学同窓会様	三十万円	五十八万九千円
矢部 雅文様	十万円	杉井 永明様	百万円	
加藤 敏仁様	二十万円	山本 文雄様	百万円	
山中 啓圓様	二万円			

全国の皆様から寄付金を頂戴いたしましたことに心から感謝申し上げます。大学での教育・研究活動に有効に活用させていただきます。

今後とも高野山大学に対して、引き続き皆様ののご指導とご協力をお願い申し上げます。

メディア掲載情報

左記番組、新聞、雑誌内で本学教職員・学生が撮影に協力し大学施設などが紹介されました。

2020年11月30日	F Mはしもと 浦部陽介の歌いたい・喋りたい
2月	月刊Chalo、日本で見つけるインドの軌跡
	Find India in Japan!
2月17日	朝日新聞EduA Close-up！注目の学部・学科
2月24日	フジテレビ 世界の何だコレ!?ミステリー
	「潜入！信長&秀吉&家康…大名のお墓が100以上も
	集結する謎エリア！」
3月11日	毎日新聞「がんを震災を経験したセラピスト
	『命に寄り添う臨床宗教師に』
3月14日	朝日新聞デジタル「人間力高めたい地域活動を必修に新設の教育学科」
4月24日	毎日放送 よんちゃんTV「まわしっば！」

企画展

1月30日～3月7日 和歌山県立博物館
「祈りと学びの山―高野山大学図書館の名宝とともに―」

メールアドレスの登録にご協力ください

高野山大学では、同窓会員や卒業生の皆様にメールアドレスの登録をお願いしています。登録いただいた皆様には、入試やオープンキャンパスをはじめとした学内行事の情報を不定期でお送りします。

本学の入学を検討されているご家族やご友人のいる方、大学祭に久しぶりに行ってみたい方、ぜひご登録をお願いします。

メールは下記のQRコードから作成送信ください。

※いただいた内容は大学から皆様への情報発信にのみ使用させていただきます。

